SRL Monthly Report
半導体産業の動向と将来に関する独自の分析と解説を中心としたレポート
2026.10

2026年10月（No.448）

主な内容とページ

世界市場で存在薄れる日欧半導体市場 1
日欧減少　中国、アジアシフト　米国復権 2
日本と欧州　似通った半導体市場 4
日欧　代表的な復興プログラム 5
欧州は半導体法案を改正、より現実的に 6
増加乏しい国内半導体生産 7
日欧が抱えた大きな課題 7
わかりやすい目標設定と評価が必要 8
成長戦略と長期構想(SRL だより) 9

世界市場で存在薄れる日欧半導体市場

世界の半導体市場は未曽有の活況を呈しているが、日欧市場は存在感が低下、正念場にある。

1. 世界市場に占める日欧の比率はここ 2 年でそれぞれ 5-6%まで低下、今年はより落ち込みそう。

2. 半導体の重要性から両地域ともに国家支援で復興に取り組んでいるが、シェア下落の歯止めはかからず、厳しい状況に向かっている。

3. 欧州は既存法を見直し、より現実的な取り組みに方向転換。わが国は、目標設定、その評価など欧州を参考にした運営など効果的なシェア奪回策の展開が必要だ。

成長戦略と長期構想(SRL だより)

日本の歴代首相で長期構想を持っていたのは一人か二人だったという見方をある本でみて納得したことがあった。政治家は足元や身近の利害得失に追われ、長期のことまで手が回らない。選挙の洗礼、与党一強下では派閥争いで、目先のことに追われているのをみれば納得できなくもない。

そんな慣習を打破する高市政権は多年度予算にまたがる成長戦略を打ち出し 2040 年度に GDP1,100 兆円に迫る試算を公開した。これに対する世間の反応は、対象が総花的で効果がわからないという感じだ。伸びそうな分野をすべて選び出し、慌てて予算と試算額をまとめた感じは拒めない。

大事なのは、何が必要か、沈みゆく日本に何が欠けているのか。政治は目標を決め、沈みこんだ原因と対策、それをもとに挑戦、世界のなかで日本の役割、貢献を追求すべきだ。国民は、ダメな原因はある程度分かっているが、政治が率先して生まれ変わらない限り成長とは見放されるままだろう。

（大竹　修）

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

http://www.semiconresearch.co.jp/

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。但しオンライン法人契約を除きます。
この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。　2026 年　版権所有　株式会社 SRL

SRL　Monthly　Report
2026 年 10 月（毎月 1 回発行）第 37 巻 10 号（通巻 448 号）

発行元：株式会社 SRL
〒187-0011　東京都 小平市鈴木町　2-865-67
TEL 042(318)7729
編集・発行人/大竹　修

SRL Monthly Report
October 2026, No.448

Semicon Research Ltd.
2-865-67　Suzuki-Cho, Kodaira -City, Tokyo 187-0011　Japan
Publisher/Editor Osamu　Ohtake

© ㈱SRL　2026

個人利用購読料金 1 年分 12 号　107,800 円（税込み）